（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2020.10.1　Vol.1704　10月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

1面 2020年度運動方針決定、第155回定期大会
1面 2020年度賞与は労使協議へ、第11中
1面 7月豪雨カンパ、福岡県に贈呈
2面 執行委員紹介、鞭馬自動車対策執行委員
2面 分会トピックス（アイランドシティ・吉塚）
2面 電気バスを突撃取材（古賀也尚斗さん）

第155回定期組合員大会

■開催日：9月24日（木）　■場所：西鉄グランドホテル（福岡市）

2020年度運動方針決定 古賀栄一執行部のもと、一致団結してコロナ禍を乗り切ろう！

9月24日、西鉄グランドホテルで、第155回定期組合員大会を開催。真摯で活発な議論のもと、2020年度運動方針を決定するとともに、古賀栄一執行委員長をはじめとする新たな執行部体制を確立した。

・　・　・

今大会は、コロナ対策として、代議員と執行部以外の会議員は、別会場で中継映像を見て参加する異例の形式をとった。冒頭の挨拶で、古賀孝治執行委員長は、コロナ禍による厳しい企業業績に触れ、「これまで同様、組合員の将来にわたる雇用と生活を守るたたかいを展開する」と決意を示すとともに、「この厳しい時代を組合員全員で一致団結して乗り越えていきたい」と抱負を述べた。

続いて、総連の池之谷中央副執行委員長、準組織内議員の「佐々木とおる」福岡県議から祝辞をいただいた後、議事へ。2020年度運動方針（案）の審議では、代議員から、最高拘束時間短縮、60歳以降の働き方、決算報告などについて質問が出され、執行部が見解を丁寧に回答。原案どおり、満場一致で決定した。

大会の最後は、古賀栄一執行委員長の発声のもと、全体で「団結がんばろう」を三唱し、万雷の拍手の中、2020年度の運動をスタートさせた。

※大会の詳細は、10月下旬発行予定の「定期大会特集号」をご覧ください

▲大会風景

▲団結がんばろう

▲古賀栄一執行委員長

第11回中央委員会

■開催日：9月10日（木）　■場　所：組合本部

在宅勤務期間延長、今年度賞与は労使協議へ

9月10日、組合本部で、第11回中央委員会を開催し、「在宅勤務試験導入期間の延長」「2020年度賞与に関する労使協議」など、すべての議案を満場一致で決定した。また、今回が2019年度最後の中央委員会となったため、年間議長を務めた3名（上田中央委員、岡本中央委員、西尾中央委員）に対して、感謝の拍手が送られた。

※決議内容の詳細は「かべ新聞第11号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

▲挨拶する上田議長（片江）、西尾議長（都市開発）、岡本議長（柳川乗務）

▲中央委員会風景

組合本部 10月スケジュール

- ◆ 9日（金）…医療共済幹事会
- ◆ 14日（水）…事務局会議
- ◆ 20日（火）…医療共済幹事会
- ◆ 21日（水）…執行委員会
- ◆ 28日（水）…中央委員会

※急遽変更となる場合があります。

組合役員選挙結果報告

本部

●執行委員長
古賀栄一（桧原）
●副執行委員長
本間大介（国際物流中央）
●書記長
森　健（貝塚）
●組織部長
渡辺裕二（筑紫乗務）
●自動車対策部長
山本義美（柏原）
●鉄道対策部長
牧野英人（筑紫工場）
●兼業対策部長
北島崇志（本社事務）
●自動車対策執行委員
鞭馬隆行（那珂川）
●鉄道対策執行委員
野田正満（筑紫乗務）
●会計監査【自動車】
安永俊秀（壱岐）
●会計監査【鉄道】
坂本祐介（SS）
●会計監査【兼業】
濱野圭祐（都市開発）

※敬称略。顔写真は定期大会特集号で掲載予定。

分会長

【自動車部門】17分会
▼自動車事務：野崎保彦、▼壱岐：馬奈木武、▼早良：真名子盛幸、▼金武：花田和也、▼愛宕浜：浦口貴史、▼百道浜：飯塚秀、▼桧原：脇山芳郎、▼柏原：花村勝博、▼片江：上田徹、▼吉塚：古賀哲也、▼土井：荒井広貴、▼アイランドシティ：有森弘至、▼宇美：熊谷誠、▼那珂川：池田幸一、▼竹下：原田圭次郎、▼博多：早田裕二、▼福岡高速：徳永靖幸

【鉄道部門】9分会
▼電車技術：高尾拓也、▼筑紫乗務：信国晃平、▼柳川乗務：岡本隆宏、▼貝塚：西川智生、▼筑紫工場：甲斐賢、▼線路技術：赤石武大、▼電気：福田顕教、▼ステーションサービス：田中義則、▼エンジニアリング：上津原崇

【兼業部門】8分会
▼本社事務：池田陽大、▼本社事業：高鍋仁、▼都市開発：西尾雄治、▼国際物流中央：宗洋和、▼国際物流東日本：佐伯和久、▼国際物流西日本：久保喜裕、▼国際物流東京：山下義彰、▼国際物流名阪：橋本和人

※敬称略。中央委員・特別中央委員は11月号に掲載予定

7月豪雨災害カンパ、福岡県に贈呈

西鉄労組では、「令和2年7月豪雨」で被害にあわれた方々を支援するため、任意による義援金カンパの取り組みを実施したところ、組合員の皆様から985,662円ものあたたかいお気持ちが寄せられました。皆様のご支援とご協力に対して、心より感謝申し上げます。

皆様からお預かりした義援金は、9月10日、福岡県の小川知事に対して、「令和2年7月豪雨災害義援金」として贈呈しました。今後、県内の被災市町村や、熊本県をはじめとする他の被災県の支援に役立てられます。

▲義援金贈呈・西鉄労組4役と小川知事（中央）

執行委員紹介

「鞭馬（むちま）隆行」自動車対策執行委員

2020年度役員改選によって、鞭馬自動車対策執行委員（那珂川）と、野田鉄道対策執行委員（筑紫乗務）の2人が、新たに執行部に加わりました。組合員の皆様に、2人のことをより深く知っていただくため、10月号と11月号の2回に分けて、2人のインタビュー記事を掲載します。今月は、豊富な経験とユニークなキャラクターが特徴の鞭馬執行委員をご紹介します。

―自動車対策執行委員に就任した今のお気持ちを教えてください。

鞭馬執行委員 不安と希望があるなかで、身の引き締まる思いですが、その責任に見合う成果を出すことができるように、力の限りを尽くす所存です。

―鞭馬執行委員は、分会での役員経験が豊富と伺っていますが、入社してからの組合活動歴を教えてください。

鞭馬執行委員 平成5年に鉄道部門の車掌として入社し、その後、自動車部門の職場に転籍しました。那珂川営業所に配属されてから分会で組合活動に携わるようになり、分会役員を4期、分会長を4期8年経験させていただき、現在に至ります。

―分会の組合員さんからは、どのような性格と言われることが多いですか。

鞭馬執行委員 分会の組合員さんからは、ユニークな性格、ムードメーカーと言われることが多かったです。

―その明るいキャラクターで、是非とも組合本部を盛り上げていただきたいと思います。では、昔から続けている趣味や、今、夢中になっていることがあれば教えてください。

鞭馬執行委員 入社した当時は、車に興味をもっていて、休日にはドライブばかり行っていました。最近は、知人に誘われて、キャンプなどのアウトドアに行くことが多いです。

―では最後に、今後の抱負など、組合員の皆様へメッセージをお願いします。

鞭馬執行委員 コロナ禍で大変厳しい状況にありますが、諸課題の解決に向けて全力で取り組みますので、どうぞよろしくお願い致します。

九州地連 2020～21年度 役員

加盟単組の役員改選などにともない、地連役員が一部変更となった。

◆執行委員長：古賀孝治（西鉄労組）
◆副執行委員長：木村憲治（堀川バス労組）
◆書記長：松本洋次（西鉄労組）
◆執行委員：筱島健嗣（西鉄グループバス労組）、田尻正行（島原鉄道労組）、佐藤満宏（大分バス労組）、西村仁（宮崎交通労組）、岡良二（私鉄鹿児島交通労組）、古賀栄一（西鉄労組）、福田博之（九州ハイタク労連）

※敬称略

分会トピックス

運転席に分会独自で飛沫防止プレート アイランドシティ分会

アイランドシティ分会では、運転士の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運転席と運賃箱との間に安全性と視認性を確保したうえで飛沫防止ができるものは作れないかと分会で話し合い、今回、試作品を作りました。まだまだ収まらないコロナ感染ですが、組合員が少しでも安心して働ける職場環境を作り、感染拡大防止に努めていきたいと思います。

【吉良匠也】

▲試作した飛沫防止プレート

新しい時代へ！ 吉塚分会

吉塚分会では、10月より新しい役員での活動が始まりました。前期からのメンバーも数人残りますが、副分会長が新しく役員に入り、本人も今まで以上に「明るく・元気」に組合員に声かけをしてくれています。役員が新しくなったことで、各班の班長さんとも、今後の分会についての課題や目標などを話し合うことができました。分会全員で力を合わせて、これからも頑張ります！

【内野林太郎】

▲土井良浩副分会長

ちょっと気になる労働ニュース

家族の時給は大丈夫？ 福岡県の最低賃金842円に

10月から各都道府県で順次最低賃金が改定され、福岡県は現行より1円増の1時間842円となった。引き上げ後の全国平均は902円で、最高額は東京の1,013円。最低賃金は、パートタイマー・アルバイト・派遣労働者など、働き方に関係なくすべての労働者に適用される。働いているご家族がいる方は、お住いの都道府県の最低賃金とご家族の時給の確認を！

北筑後地域労福協、福祉募金で物品を寄贈

9月17日、北筑後地域労働者福祉協議会は、「2020年度福祉募金寄贈式」を開催し、久留米市と大川市の福祉事業団体3団体に、パソコンや血圧計など約50万円相当の物品を寄贈した。福祉募金は、ハンディキャップをもちながらも、自立と社会参加をめざす方たちの福祉向上と支援の和を広げていくことを目的に毎年実施。渡辺裕二会長（西鉄労組組織部長）から、3団体の代表者に目録が授与された。

▲福祉募金物品寄贈式

突撃取材 アイランドシティ分会 古賀也尚斗（やなと）さんに聞く!!

電気バスの特徴と運転技術について

低炭素社会実現に向けた取り組みの一環として、2020年2月に導入された電気バスの特徴や運転技術などについて、電気バスに乗務している古賀也尚斗さん（23）にお話を伺いました。古賀さんは、養成運転士として採用され、高速バスセンターでの勤務を経て、アイランドシティ営業所の前身の香椎浜営業所に配属された、分会最年少の組合員さんです。

＊＊＊＊＊

―本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。まず、電気バスを最初に運転した時の感想を教えてください。

古賀さん とにかくエンジン音が静かで驚きました。また、通常のバスでは、ギアが変わる際にどうしてもショックが多少あるのですが、電気バスは滑らかな走りで、まるで電車に乗っているかのような体感でした。

―電気バスの特徴について、簡単に教えていただけないでしょうか。

古賀さん エンジンカットをしなくて良い、ショックがないスムーズな加速、エンジン音が静か、災害時には非常電源にもなる、といった特徴があります。

―運転をするうえで、電気バスと通常のバスでは、どのような違いがありますか。

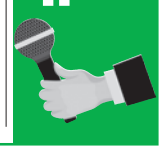
古賀さん 電気バスでは、時速40Km未満から40Km以上に再加速する際、通常のバスと同じようなアクセルワークでは、加速がスムーズにいかない点があります。電気バスでは、通常のバスよりアクセルをしっかり踏み込む必要があります。

―電気バス特有の運転技術が必要となってくるわけですね。運転する際、古賀さんが特に気をつけていることはなんですか。

古賀さん 時速40Km以上で走行している際、通常のバスと同様にアクセルを離すと、ショックが起こり、乗り心地が悪くなってしまいます。お客様に快適にご乗車いただけるよう、アクセルをゆっくり離すことを心がけています。

―電気バスは、アクセルワークが難しそうですね。細やかな気遣いを欠かさない、古賀さんの運転する電気バスに是非とも乗ってみたいと思いました。本日は、ありがとうございました。

▲運転席に座る古賀也尚斗さん



電気バスの概要

＊導入台数：1台（アイランドシティ営業所）既存車両を改造。
＊CO2排出量：ディーゼルバスと比べ約46%削減
＊運行可能距離：約90km
＊非常電源能力：携帯電話の充電、約15,000台分